



大覚野牧場でワラビ採り

かみひのきない保育園は、10年前に廃校となった旧上桧木内中学校校舎を改築し、多世代交流施設として誕生した「山鳩館」の中にあります。館内には、保育園とデイサービス施設があり、普段から園児とおじいちゃんやおばあちゃんが交流しています。



自然豊かな地域

「ミズでも採らねばママかれねえ♪(※)」と手踊りを習っている子どもたちは歌いながら裏山で採ったミズの下処理をしています。

※手踊りの組音頭の歌詞

人との交流



デイサービスの方々と一緒にちまき作りをした七夕祭り



中川保育園のお友達が来園!
一緒に焼きそばを作って食べました。

地域や旬を味わう

地場食材や郷土食・行事食を大切に!

園では、子どもたちが地域や自然を利用して、その中でびやかに育つことを大切に考えており、それに加え地域の方々も、子どもたちをあたたく見守ってくれていました。

恵まれた自然の中で、食べ物や植物、行事などを通じて、子どもたちが季節の移り変わりを身近に感じ、四季を味わい、そこに住む人たちのぬくもりを感じながら過ごすことは、生まれ育った地への愛着心や、地域を思う心の醸成にもつながることだと感じました。



伝統行事「もちつき」:

地元のもち米を使用し、うす・きね・はんぞうは、地域の方々が子どもたちのためにと寄贈してくださったもの。子どもたちが日頃お世話になっている人々に感謝の気持ちを込めて紅白もちをプレゼント!

